

『地域活性化と滋賀のBRAND戦略研究会』

座長 副代表幹事 中井 保

「滋賀県の地域活性化」 ～滋賀のブランドカアップを目指して～

をテーマに、研究会の座長である中井保氏より、
次のとおり研究発表をされた。

滋賀経済同友会では、「滋賀から世界へ・未来へ」の高い志のもと、「持続可能な社会と地域の飛躍」の実現を目指して活動をしている。それは、企業の社会的責任の実践を基本に、地域とともに「地球環境保全先端県」「地域資源共生先端県」「文化産業集積先端県」の確立を目指しています。具体的には、環境と経済成長を見据えた「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」をスタートさせ、いままた「生物多様性」についても滋賀から世界へそして未来へ情報発信をしようとしています。

また、滋賀県においても、環境と地域活性を両輪とした取り組みを、生産業・農漁業・観光業等において進めようとしており、これらの取り組みは、滋賀県の付加価値創造であり、まさに滋賀県のブランド力向上につながるものです。

しかし、それらの取り組みをさらに推進し実効性のあるためには、それぞれが協同、つまり「絆」で結ばれることが重要であると考えます。

滋賀県の歴史・文化・自然といった地域資源に立脚し、これらと生活・産業が共生して地域活性化を図るために、

1. 滋賀県民に定着した「マザーレーク」をシンボルとした滋賀県をあげたブランディングマネジメントの推進
2. 産・官・学・市民をあげたブランディングの推進組織「滋賀・びわ湖ブランドネットワーク（仮称）」の設立

を進めることが必要であると考えます。



中井 保 氏

